

台風19号による災害支援 報告

台風19号により東日本を中心に甚大な被害が発生しました。

倉敷市社会福祉協議会は、昨年の平成30年7月豪雨災害で多くの方にご支援を受けたこと感謝し、資機材等の物資提供ならびに災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣を行いました。職員派遣は、いわき市災害ボランティアセンターに10月16日（水）から13日間延べ35名を派遣しました。

いわき市では、台風19号により夏井川などの複数の河川で10か所以上が決壊・氾濫したことにより浸水被害がでていますが、被災地域がいわき市に点在している状況です。また、10月25日の大雨により、さらに被災地域が拡大しており、甚大な被害となっていますが、ニーズに対するボランティアの不足が懸念されます。

<資機材等の物資提供>

栃木市社協・鹿沼市社協

いわき市社協

<職員派遣>

いわき市災害ボランティアセンター



被災地区の地域の様子（小川支所）



浸水して残った跡

小川支所内の様子



マッチングの様子



被災地の様子（住民が廃棄物を搬出）